

## 大館市自殺対策計画(素案)に対する意見募集の結果について

### 1. 意見募集期間

令和6年1月15日(月)～令和6年1月26日(金)

### 2. 提出された意見

(1) 意見者数 2名

(2) 意見数(要約) 5件

No	ご意見の要旨	市の考え・対応
1	メンタルヘルス相談(面接相談)を土曜日、日曜日、祝日にも行ってほしい。また、女性相談員の増員をお願いしたい。	市が委託して行っている「メンタルヘルス相談」をより利用しやすいものとするために、これまでの利用状況や利用者の声を分析して、開催日の設定を検討します。また、それに併せて、女性を含めた相談員の確保・配置についても検討します。
2	交流サロン「ひなたぼっこ」は高齢のかたの参加が多いため、若者を対象にしたサロンを開催してほしい	市内の自殺予防・ひきこもり者支援団体等と意見交換を行って、ニーズを汲み取り、若者も気軽に利用できるサロン等の居場所づくりを進めます。
3	7ページの「原因別の自殺者数の状況」の表で、自殺原因の6割が「不詳」となっており、原因がわからないために適切な対策を行うことができず、自殺率の高さに繋がっているのではないか。	自殺の原因は、様々な要因が複合的に関係しており、1つに結論付けることは難しいですが、自殺のおもな原因については関係機関と連携して把握に努め、施策に反映していきます。
4	31ページの「5 大館市における主な自殺対策関連事業」として具体的に取り組む事業や概要を掲載している。数値目標に変わるものとしてそれらを一覧に整理した“確認シート”などを作成して、関係各部署の進捗状況把握や確認、評価したらよいと思う。	主な自殺対策関連事業については、毎年、関係各部署が「自殺対策計画進捗確認シート」に実施計画、実績、評価等を記入して、PDCAサイクルにより、計画の実効性が高まるように継続的に取り組んでいます。
5	自殺対策は当計画のみならず、他分野の計画や対策と一体的に進める必要がある。市が取り組んでいる「重層的支援体制整備事業」を有効に活用し、各分野が一体となって複合的な問題解決に向け、積極的に取り組んでほしい。	問題を抱えているかたを各支援関係者のネットワークにより把握し、困難なケースは「重層的支援体制整備事業」として行う「大館市福祉まるごと支援ネットワーク」の支援会議等で多くの関係機関が協働して問題解決を図っています。